

一般財団法人安住荘 令和4年度 事業報告書

当法人の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで、以下「本年度」という）の事業状況につき次のとおり報告する。

事業の概要

1. 会館を活用した各種講座、セミナーの開催

（継続事業1）

会館を利用して以下の講座を開催することにより、高齢者及び地域住民の生き甲斐づくりを手助けし教養の向上を図り、あわせて精神面での慰安を提供する事業を継続して行った。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、計画に近い形で事業を実施した。

A 法話会

僧侶を講師に招いて法話を聞く講座。

日常生活に応用可能な仏教を題材にした講演を行って、高齢者及び地域住民に精神面での慰安を提供し、併せて教養の向上を図る。

講師：浄土真宗・大阪教区の僧侶を中心に、月替わりで依頼。

実施回数 12 回。参加者数は毎回 20～30 名程度

B 介護職員向け研修会

地域の介護者向けに知識と技術の向上のための研修会を実施。地域の高齢者福祉増進に寄与を図る。実施状況は以下の通り。

4月25日（月）「医と食と心をつなぐ健康発信」小野裕美先生

5月16日（月）「看取りの実践」岡山容子先生

6月14日（火）「ハラスメント」大神令子先生

7月5日（火）「水難事故防止」すがわらえみ先生

8月17日（水）感染症拡大のため中止

9月14日（水）「非常時・災害時対応」竹下純一先生

10月13日（木）「認知症ケア」森田由紀子先生

11月15日（火）「遺品整理」屋宜明彦先生

12月14日（水）「ヒヤリ・ハット」桑原輝美先生

1月17日（火）「スタッフ間の協働」蔭山潤子先生

2月15日（水）「個人情報保護」竹下純一先生

3月15日（水）「司法と福祉の架け橋を目指して」西出一美先生

実施回数 11 回。参加者は毎回 10～15 名程度

C いのちを考える座談会

地域住民向けにゲストスピーカーを招いて座談会を実施した。

10月4日（火）「安楽死」ジェシー・釋尼萌海師

11月23日（水）「母の看取り」さかもとかこ師

2月1日（水）「交通事故被害」岩田昌美氏

実施回数3回。参加者は10～30名程度

D 地域共生講座

地域住民向けの講座を実施した。

4月22日（金）「SNSと外交問題」重村智計教授

4月24日（日）「事例から学ぶ後見制度」宮内康二先生

1月19日（木）「犯罪被害とグリーフケア」本郷由美子先生

実施回数3回。参加者は20～30名程度。

F 落語会

地域住民向け慰労としてアマチュア落語家を招聘した。

11月13日（日）関西大学落語研究会 OB

実施回数1回。参加者は30名程度。

E 癒しと語りのカフェ

地域住民向けに交流サロンを開催。ハンドトリートメント講師を招聘。

実施回数11回。参加者は15～20名程度。

F おやこヨガ

地域住民のうち乳幼児の母親を対象にした交流会を実施した。

実施回数9回。参加者は親子3組～8組程度。

G ダンスセラピー

地域住民のうち知的障がい者を対象とした表現トレーニングを実施した。

実施回数5回。参加者は毎回5名程度。

2. 地域周辺住民等への貸館事業

（継続事業2）

会館の空き時間を利用し、各種文化教室、町会会合、地域住民の交流、サークル活動に無償で会場を提供した。

A 文化教室

生け花、民謡、ちぎり絵の各文化教室へ会場を無償提供した。

実施回数約 50 回。

B 町会会合

地域の町会（喜連北連合第五町会、西一町会）会合に会場を無償提供した。
実施 4 回。

C 認知症カフェ

地域の介護事業所に会場を無償提供した。
実施回数 11 回。

D 地域のサークル団体等集会

地域のサークル団体等に会場を無償提供した。
実施回数約 30 回。

E 学習支援付きこども食堂

地域の非営利団体に会場を無償提供した。
実施回数 9 回。

以上。なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。